

特別支援学校高等部学習指導要領案新旧対照表

改訂案	現行
<p>第2節 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校</p> <p>第1款 各学科に共通する各教科の目標及び内容</p> <p>【国語】</p> <p>1 目標 生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>○1段階</p> <p>(1) 話の内容の要点を落とさないように聞き取る。 (2) 目的や場に応じて要点を落とさないように話す。 (3) いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。 (4) 手紙や日記などを目的に応じて正しく書く。</p> <p>○2段階</p> <p>(1) 話し手の意図や気持ちを考えながら、話の内容を適切に聞き取る。 (2) 自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。 (3) 目的や意図などに応じて文章の概要や要点などを適切に読み取る。 (4) 相手や目的に応じていろいろな文章を適切に書く。</p> <p>【社会】</p> <p>1 目標 社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。</p>	<p>第2節 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校</p> <p>第1款 普通教育に関する各教科の目標及び内容</p> <p>【国語】</p> <p>1 目標 生活に必要な国語についての理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p> <p>2 内容</p> <p>○1段階</p> <p>(1) 話の内容の要点を落とさないように聞き取る。 (2) 目的や場に応じて要点を落とさないように話す。 (3) いろいろな語句、文及び文章を正しく読み、内容を読み取る。 (4) 手紙や日記などを目的に応じて正しく書く。</p> <p>○2段階</p> <p>(1) 話し手の意図を考えながら、話の内容を適切に聞き取る。 (2) 自分の立場や意図をはっきりさせながら、目的や場に応じて適切に話す。 (3) 文章の概要や要点などを適切に読み取る。 (4) 相手や目的に応じて文章を適切に書く。</p> <p>【社会】</p> <p>1 目標 社会の様子、働きや移り変わりについての関心と理解を一層深め、社会生活に必要な能力と態度を育てる。</p>

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 相手や自分の立場を理解し、互いに協力して役割や責任を果たす。
- (2) 社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを適切に守る。
- (3) 生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解し、それらを適切に利用する。
- (4) 政治、経済、文化などの社会的事象や通信、メディアなどに興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する。
- (5) 我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し、社会の変化や伝統に関心をもつ。
- (6) 外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事に関心をもつ。

### ○2段階

- (1) 個人と社会の関係が分かり、社会の一員としての自覚をもつ。
- (2) 社会の慣習、生活に関係の深い法や制度を知り、必要に応じて生活に生かす。
- (3) 公共施設や公共物などの働きについての理解を深め、それらを適切に利用する。
- (4) 政治、経済、文化などの社会的事象や通信、メディアなどに興味や関心を深め、生産、消費などの経済活動に関する事柄を理解する。
- (5) 地図や各種の資料などを活用し、我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子、社会の変化や伝統を知る。
- (6) 各種の資料を活用し、外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事について知る。

### [数 学]

#### 1 目標

生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。

#### 2 内容

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 相手や自分の立場を理解し、互いに協力して役割や責任を果たす。
- (2) 社会や国にはいろいろなきまりがあることを知り、それらを適切に守る。
- (3) 日常生活に関係の深い公共施設や公共物などの働きを理解し、それらを適切に利用する。
- (4) 政治、経済、文化などの社会的事象に興味や関心をもち、生産、消費などの経済活動に関する基本的な事柄を理解する。
- (5) 我が国のいろいろな地域の自然や生活の様子を理解し、社会の変化に関心をもつ。
- (6) 外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事に関心をもつ。

### ○2段階

- (1) 個人と社会の関係が分かり、社会の一員としての自覚をもつ。
- (2) 社会の慣習、生活に関係の深い法や制度を知り、必要に応じて生活に生かす。
- (3) 公共施設や公共物などの働きについての理解を深め、それらを適切に利用する。
- (4) 政治、経済、文化などの社会的事象に興味や関心をもち、これらに関する基本的な事柄を理解する。
- (5) 地図や各種の資料などを活用し、我が国のいろいろな地域の様子や社会の変化を知る。
- (6) 各種の資料を活用し、外国の自然や人々の生活の様子、世界の出来事について知る。

### [数 学]

#### 1 目標

生活に必要な数量や図形などに関する理解を深め、それらを活用する能力と態度を育てる。

#### 2 内容

○ 1 段階

- (1) 日常生活に必要な数量の処理や計算をする。
- (2) 長さ・重さなどの単位の関係が分かり、測定する。
- (3) 図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して作ったりする。

- (4) 金銭や時計・暦などの正しい使い方が分かる。

○ 2 段階

- (1) 生活に必要な数量の処理や計算をする。
- (2) 長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、活用する。
- (3) 様々な図形、表やグラフを理解し、工夫して使う。
- (4) 生活に必要な金銭や時計・暦などを工夫して使う。

[理 科]

1 目 標

自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にすることを育てる。

2 内 容

○ 1 段階

- (1) 人の体の主なつくりや働きを理解する。
- (2) 生物の特徴、その成長や活動の様子について理解し、生命の大切なことを知る。
- (3) 生活に関係のある物質の性質や機械・器具の構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。
- (4) 自然の事物・現象についての初歩的な理解を図るとともに、自然と生活との関係を理解する。

○ 2 段階

- (1) 人の体の主なつくりや働きについての理解を深めるとともに、人の成長や環境とのかかわりについて関心をもつ。
- (2) 生物とそれを取り巻く自然環境についての理解を深め、生命の大切なこと

○ 1 段階

- (1) 数量の処理や計算をし、日常生活の中で使う。
- (2) 長さ・重さなどの単位の関係が分かり、測定する。
- (3) 図形を正しく作図したり、表やグラフを工夫して作ったりして、生活の中で使う。
- (4) 金銭や時計・暦を生活の中で使う。

○ 2 段階

- (1) 数量の処理や計算をし、生活の中で活用する。
- (2) 長さ・重さ・量などの測定方法を理解し、生活の中で活用する。
- (3) 様々な図形、表やグラフを理解し、生活の中で工夫して使う。
- (4) 金銭や時計・暦を生活の中で工夫して使う。

[理 科]

1 目 標

自然の仕組みや働きについての理解を深め、自然を愛する豊かな心情を培う。

2 内 容

○ 1 段階

- (1) 人の体の主なつくりや働きを理解する。
- (2) 生物についての理解を深め、生命の大切なことを知る。
- (3) 生活に関係のある物質の性質や機械・器具の構造及び働きについて理解し、適切に取り扱う。
- (4) 自然の事物・現象についての初歩的な理解を図るとともに、自然と生活との関係を理解する。

○ 2 段階

- (1) 人の体の主なつくりや働きについての理解を深めるとともに、人の成長や環境とのかかわりについて関心をもつ。
- (2) 生物とそれを取り巻く自然環境についての理解を深め、生命を尊重する態

を知る。

- (3) 様々な物質の性質や機械・器具の種類，構造及び働きについて理解し，適切に取り扱う。
- (4) 自然の事物・現象についての理解を図るとともに，自然と生活との関係について理解を深める。

## [音楽]

### 1 目標

表現及び鑑賞の能力を伸ばし，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら鑑賞する。
- (2) 音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り，創造的に身体の動きで表現したりする。
- (3) 打楽器や旋律楽器などに親しみ，その演奏の仕方に慣れ，気持ちを込めて合奏や独奏をする。
- (4) 歌詞の内容を感じ取って，独唱，斉唱，簡単な合唱などをする。

#### ○2段階

- (1) いろいろな音楽をその美しさなどを味わいながら鑑賞する。
- (2) 音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。
- (3) 打楽器，旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ，楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。
- (4) 独唱，斉唱，二部合唱，オペレッタなどによる表現に慣れ，歌詞の内容や曲想などを味わいながら歌う。

## [美術]

### 1 目標

造形活動によって，表現及び鑑賞の能力を高め，豊かな情操を養う。

度を育てる。

- (3) 様々な物質の性質や機械・器具の種類，構造及び働きについて理解し，適切に取り扱う。
- (4) 自然の事物・現象についての理解を図るとともに，自然と生活との関係について理解を深める。

## [音楽]

### 1 目標

表現及び鑑賞の能力を伸ばし，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) いろいろな音楽を楽しく鑑賞する。
- (2) 音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り，創造的に身体の動きで表現したりする。
- (3) 打楽器や旋律楽器に親しみ，その演奏の仕方に慣れ，気持ちを込めて合奏や独奏をする。
- (4) 歌詞の内容を感じ取って，独唱，斉唱，簡単な合唱などをする。

#### ○2段階

- (1) いろいろな種類の音楽に親しみ，楽しく鑑賞する。
- (2) 音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。
- (3) 打楽器，旋律楽器の演奏の仕方に慣れ，楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。
- (4) 独唱，斉唱，二部合唱，オペレッタなどによる表現に慣れ，楽しみながら歌う。

## [美術]

### 1 目標

造形活動によって，表現及び鑑賞の能力を高め，豊かな情操を養う。

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 経験や想像をもとに創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。
- (2) いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、工夫して使う。
- (3) 自然や優れた造形品を鑑賞し、その美しさなどを味わう。

### ○2段階

- (1) 経験や想像をもとに、様々な技法などを用いて、創造的に絵をかいたり、作品をつくったり、それらを飾ったりする。
- (2) いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。
- (3) 自然や優れた造形品を鑑賞し、美しさなどを味わうとともに、地域の伝統工芸品に関心をもつ。

### [保健体育]

#### 1 目標

適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動をする。
- (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力して安全に運動をする。
- (3) 心身の発育・発達に関心を持ち、生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解する。

### ○2段階

- (1) 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能を高める。
- (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、友達と協力し、進んで安全に運動をする。

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 経験や想像をもとに創造的にかいたり、つくったり、飾ったりする。
- (2) いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、工夫して使う。
- (3) 自然や優れた造形品を鑑賞し、それらを大切にする。

### ○2段階

- (1) 経験や想像をもとに、様々な技法などを用いて、創造的にかいたり、つくったり、飾ったりする。
- (2) いろいろな材料の性質や用具などの扱い方を理解し、適切に使う。
- (3) 自然や優れた造形品を鑑賞し、美しさ味わうとともに、地域の伝統工芸品に関心をもつ。

### [保健体育]

#### 1 目標

適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、心身の調和的発達を図り、明るく豊かな生活を営む態度と習慣を育てる。

## 2 内容

### ○1段階

- (1) 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動をする。
- (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、互いに協力し、安全に運動をする。
- (3) 心身の発育・発達に関心を持ち、生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解する。

### ○2段階

- (1) 体づくり運動、いろいろなスポーツ、ダンスなどの運動を通して、体力や技能の向上を図る。
- (2) きまりやいろいろなスポーツのルールなどを守り、互いに協力し、進んで安全に運動をする。

(3) 心身の発育・発達に応じた適切な行動や生活に必要な健康・安全に関する事柄の理解を深める。

## [職業]

### 1 目標

勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 働くことの意義を理解し、作業や実習に取り組み、働く喜びを味わう。
- (2) 道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業や実習をする。
- (3) 自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 適切な進路選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。
- (5) 産業現場等における実習を通して、実際の職業生活を経験する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇の有効な過ごし方が分かる。
- (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの簡単な操作をする。

#### ○2段階

- (1) 働くことの意義について理解を深め、積極的に作業や実習に取り組み、職場に必要な態度を身に付ける。
- (2) いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全や衛生に気を付けながら正確に効率よく作業や実習をする。
- (3) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 職業生活に必要な実際的な知識を深める。
- (5) 産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇の計画的な過ごし方についての理解を深める。
- (7) 職場で使われる機械やコンピュータ等の情報機器などの操作をする。

(3) 心身の発育・発達や生活に必要な健康・安全に関する事柄を理解し、実際の生活に生かす。

## [職業]

### 1 目標

勤労の意義について理解するとともに、職業生活に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 働くことの意義を理解し、働く喜びを味わい、作業や実習に参加する。
- (2) 道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全に作業や実習をする。
- (3) 自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 適切な進路選択のために、いろいろな職業や職業生活について知る。
- (5) 産業現場等における実習を通して、実際の職業生活を経験する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇利用の方法を知り、生活に生かす。
- (7) 職場で使われる機械や情報機器等の簡単な操作をする。

#### ○2段階

- (1) 働くことの意義について理解を深め、職業生活に必要な態度を自覚し、積極的に作業や実習をする。
- (2) いろいろな道具や機械の仕組み、操作などを理解し、材料や製品の管理を適切に行い、安全で正確に効率よく作業や実習をする。
- (3) 作業の工程全体を理解し、自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業や実習をする。
- (4) 職業生活に必要な実際的な知識を深める。
- (5) 産業現場等における実習を通して、職業生活に必要な事柄を理解する。
- (6) 職業生活に必要な健康管理や余暇利用の方法についての理解を深め、生活に積極的に生かす。
- (7) 職場で使われる機械や情報機器等の操作をする。



## [家庭]

### 1 目標

明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、楽しい家庭づくりのための自分の役割を果たす。
- (2) 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方が分かる。
- (3) 家庭生活中で使用する道具や器具などの正しい使い方が分かり、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 被服、食物、住居などに関する実習を通して、実際的な知識と技能を習得する。
- (5) 保育や家庭看護などに関心をもつ。

#### ○2段階

- (1) 家庭の機能や家族の役割を理解し、楽しい家庭づくりのために積極的に役割を果たす。
- (2) 家庭生活における計画的な消費や余暇の有効な過ごし方について理解を深める。
- (3) 家庭生活中で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 被服、食物、住居などに関する実習を通して、健康で安全な生活に必要な実際的な知識と技能を習得する。
- (5) 保育や家庭看護などに関する基礎的な知識と技能を習得する。

## [外国語]

### 1 目標

外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。

### 2 内容

## [家庭]

### 1 目標

明るく豊かな家庭生活を営む上に必要な能力を高め、実践的な態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 家族がそれぞれの役割を果たしていることを理解し、自分の役割を果たす。
- (2) 計画的な消費や余暇利用の方法を知り、生活に生かす。
- (3) 家庭生活中で使用する道具や器具などの正しい使い方が分かり、安全に実習をする。
- (4) 被服、食物、住居などに関する実習を通して、実際的な知識と技能を習得する。
- (5) 保育や家庭看護などに関心をもち、それらに協力する。

#### ○2段階

- (1) 家庭の機能や家族の役割を理解し、楽しい家庭づくりに積極的に参加する。
- (2) 生活の設計のために、計画的な消費や余暇利用の方法について理解を深め、実際の生活に生かす。
- (3) 家庭生活中で使用する道具や器具を効率的に使用し、安全に実習をする。
- (4) 被服、食物、住居などに関する実習を通して、実際的な知識と技能を習得し、生活に生かす。
- (5) 保育や家庭看護などに関する基礎的な知識と技能を習得し、生活に生かす。

## [外国語]

### 1 目標

外国語でコミュニケーションを図る基礎的な能力や態度を育てるとともに、外国語や外国への関心を深める。

### 2 内容

## 英語

### ○1段階

- (1) 簡単な英語を使って表現したり、やりとりしたりする。
- (2) 簡単な語、句、文に興味や関心をもつ。
- (3) 日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。

### ○2段階

- (1) 初歩的な英語を使って簡単な会話をする。
- (2) 簡単な語、句、文を書いたり読んだりする。
- (3) 簡単な語、句、文の意味を知る。

## その他の外国語

その他の外国語の内容については、英語に準ずるものとする。

## [情報]

### 1 目標

コンピュータ等の情報機器の操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 日常生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割に関心をもつ。
- (2) コンピュータ等の情報機器に関心をもち、簡単な操作をする。
- (3) 各種のソフトウェアに関心をもち、実習をする。
- (4) コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理、発信に関心をもつ。
- (5) 情報の取扱いに関するきまりやマナーがあることを知る。

#### ○2段階

- (1) 生活の中で情報やコンピュータ等の情報機器が果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。

## 英語

### ○1段階

- (1) 簡単な英語を使ってやりとりをする。
- (2) 簡単な語、句、文を読んだり書いたりすることに親しむ。
- (3) 日常生活の中で見聞きする語や句の意味を知る。

### ○2段階

- (1) 初歩的な英語を使って簡単な会話をする。
- (2) 簡単な文を書いたり読んだりする。
- (3) 簡単な語や句の意味を知る。

## その他の外国語

その他の外国語の内容については、英語に準ずるものとする。

## [情報]

### 1 目標

コンピュータなどの操作の習得を図り、生活に必要な情報を適切に活用する基礎的な能力や態度を育てる。

### 2 内容

#### ○1段階

- (1) 日常生活の中で情報やコンピュータなどが果たしている役割に関心をもつ。
- (2) コンピュータなどの基本操作に関心をもち、実習をする。
- (3) 各種のソフトウェアに関心をもち、実習をする。
- (4) コンピュータなどを利用した情報の収集、処理、発信に関心をもつ。

#### ○2段階

- (1) 生活の中で情報やコンピュータなどが果たしている役割を知り、それらの活用に関心をもつ。



- (2) コンピュータ等の情報機器の扱い方が分かり、操作する。
- (3) 各種のソフトウェアの操作に慣れ、実習をする。
- (4) コンピュータ等の情報機器を利用した情報の収集、処理、発信の方法が分かり、実際に活用する。
- (5) 情報の取扱いに関するきまりやマナーを理解し、それらを守って実習する。

## 第2款 主として専門学科において開設される各教科の目標及び内容

### [家政]

#### 1 目標

家庭に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、生活に関連する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、生活に関連する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

#### 2 内容

- (1) 生活に関連する職業についての興味・関心を深め、意欲的に実習をする。
- (2) 生活に関連する職業において必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 生活に関連する職業で使用する各種の器具や機械、コンピュータ等の情報機器などの取扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 次に示すような家庭に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。
  - ・被服の製作
  - ・クリーニング
  - ・手芸
  - ・調理、製菓、食品
  - ・住居の管理、インテリア
  - ・保育、家庭看護

- (2) コンピュータなどの基本操作が分かり、実習をする。
- (3) 各種のソフトウェアの操作に慣れ、生活の中で活用する。
- (4) コンピュータなどを利用した情報の収集、処理、発信の方法が分かり、実際に活用する。
- (5) 情報の取扱いに関するきまりやマナーについて理解し、実践する。

## 第2款 専門教育に関する各教科の目標及び内容

### [家政]

#### 1 目標

家庭に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、生活に関連する職業の意義と役割の理解を深めるとともに、生活に関連する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

#### 2 内容

- (1) 生活に関連する職業についての興味・関心を深め、意欲的に実習に参加する。
- (2) 生活に関連する職業において必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 生活に関連する職業で使用する各種の器具や機械、コンピュータなどの操作に必要な知識と技術を習得し、安全に実習をする。
- (4) 次に示すような家庭に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。
  - ・被服の製作
  - ・クリーニング
  - ・手芸
  - ・調理、製菓、食品
  - ・住居の管理、インテリア
  - ・保育、家庭看護、介護

## [農業]

### 1 目標

農業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、農業の意義と役割の理解を深めるとともに、農業に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

### 2 内容

- (1) 農業についての興味・関心を高め、意欲的に実習をする。
- (2) 農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 農機具や簡単な機械、コンピュータ等の情報機器などの取扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 次に示すような農業に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。
  - ・作物、野菜及び果樹の栽培
  - ・草花の栽培、花壇の管理
  - ・家畜の飼育
  - ・食品加工

## [工業]

### 1 目標

工業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、工業の意義と役割の理解を深めるとともに、工業に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

### 2 内容

- (1) 工業についての興味・関心を高め、意欲的に実習をする。
- (2) 工業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 各種の工具や機械、コンピュータ等の情報機器などの取扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 次に示すような工業に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。

## [農業]

### 1 目標

農業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、農業の意義と役割の理解を深めるとともに、農業に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

### 2 内容

- (1) 農業についての興味・関心を高め、意欲的に実習に参加する。
- (2) 農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 農機具や簡単な機械、コンピュータなどの操作に必要な知識と技術を習得し、安全に実習をする。
- (4) 次に示すような農業に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。
  - ・作物、野菜及び果樹の栽培
  - ・草花の栽培、花壇の管理
  - ・家畜の飼育
  - ・食品加工

## [工業]

### 1 目標

工業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り、工業の意義と役割の理解を深めるとともに、工業に関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

### 2 内容

- (1) 工業についての興味・関心を高め、意欲的に実習に参加する。
- (2) 工業に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 各種の工具や機械、コンピュータなどの操作に必要な知識と技術を習得し、安全に実習をする。
- (4) 次に示すような工業に関する分野に必要な知識と技術を習得し、実際に活用する。

- ・木材，金属，セラミック，紙，布，皮革などの製品の製造
- ・印刷

### [流通・サービス]

#### 1 目標

流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り，それらの意義と役割の理解を深めるとともに，流通やサービスに関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

#### 2 内容

- (1) 流通やサービスについての興味・関心を高め，意欲的に実習をする。
- (2) 流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 事務機器，機械や道具，コンピュータ等の情報機器などの取扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し，安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 次に示すような流通やサービスに関する分野に必要な知識と技術を習得し，実際に活用する。
  - ・商品管理
  - ・販売
  - ・清掃
  - ・事務

### [福祉]

#### 1 目標

社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り，社会福祉の意義と役割の理解を深めるとともに，社会福祉に関する職業に必要な能力と実践

- ・セラミック製品の製造
- ・木材を主材料とする製品の製造
- ・金属を主材料とする製品の製造
- ・石材を主材料とする製品の製造
- ・布を主材料とする製品の製造
- ・印刷

### [流通・サービス]

#### 1 目標

流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を図り，それらの意義と役割の理解を深めるとともに，流通やサービスに関する職業に必要な能力と実践的な態度を育てる。

#### 2 内容

- (1) 流通やサービスについての興味・関心を高め，意欲的に実習に参加する。
- (2) 流通やサービスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し，適切に接客，応対する態度を身に付ける。
- (3) コンピュータなどの事務機器，機械や道具の操作に必要な知識と技術を習得し，安全に実習をする。
- (4) 次に示すような流通やサービスに関する分野に必要な知識と技術を習得し，実際に活用する。
  - ・商品管理
  - ・販売
  - ・清掃
  - ・事務

的な態度を育てる。

## 2 内容

- (1) 社会福祉についての興味・関心を高め、意欲的に実習をする。
- (2) 社会福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
- (3) 福祉機器や用具、コンピュータ等の情報機器などの取扱いや保管・管理に必要な知識と技術を習得し、安全や衛生に気を付けながら実習をする。
- (4) 次に示すような社会福祉に関する必要な分野の知識と技術を習得し、実際に活用する。
  - ・家事援助
  - ・介護

### 第3款 指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い

- 1 指導計画の作成に当たっては、個々の生徒の知的障害の状態や経験等を考慮しながら、実際に指導する内容を選定し、配列して、具体的に指導内容を設定するものとする。
- 2 個々の生徒の実態に即して、生活に結び付いた効果的な指導を行うとともに、生徒が見通しをもって、意欲的に学習活動に取り組むことができるよう配慮するものとする。
- 3 「職業」及び「家庭」の指導計画の作成に当たっては、職業生活、家庭生活に必要な実地的な知識、技能及び態度の形成に重点を置いた指導が行われるよう配慮するものとする。
- 4 「家政」、「農業」、「工業」、「流通・サービス」及び「福祉」の内容の取扱いについては、それぞれの教科の内容の(4)は、地域や学校の実態などを考慮して適切な内容を選択し、重点的に取り扱うものとする。
- 5 生徒の実態に即して学習環境を整えるなど、安全に留意するものとする。
- 6 実習を行うに当たっては、施設・設備の安全管理に配慮し、学習環境を整えらるとともに、事故防止の指導を徹底し、安全と衛生に十分留意するものとする。

### 第3款 指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い

- 1 指導計画の作成に当たっては、生徒の知的発達の遅滞の状態や経験等を考慮しながら、実際に指導する内容を選定し、配列して、効果的な指導を行うことができるよう配慮するものとする。
- 2 各教科、道徳、特別活動及び自立活動の全部又は一部を合わせて指導計画を作成するに当たっては、個々の生徒の実態に即して、生活に結び付いた学習活動が展開できるよう配慮するものとする。
- 3 「職業」及び「家庭」の指導計画の作成に当たっては、職業生活、家庭生活に必要な実地的な知識、技能及び態度の形成に重点を置いた指導が行われるよう配慮するものとする。
- 4 「家政」、「農業」、「工業」及び「流通・サービス」の内容の取扱いについては、それぞれの教科の内容の(4)は、地域や学校の実態などを考慮して適切な内容を選択し、重点的に取り扱うものとする。
- 5 生徒の実態に即して学習環境を整えるなど、安全に留意するものとする。

7 家庭等との連携を図り、生徒が学習の成果を生かすことができるよう配慮するものとする。

8 生徒の知的障害の状態や経験等に応じて、教材・教具や補助用具などを工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにするものとする。

6 家庭等との連携を図り、生徒が学習の成果を実際の生活に生かすことができるよう配慮するものとする。